

佐渡総合高校 人権ニュース（教職員・生徒・保護者 配布）

【第6号】令和6年9月20日 人権教育・同和教育・男女共同参画委員会発行

1. 人権研修会

～～残り少なくなりました。是非ご参加下さい。～～

特別講演会を追加しました 「令和6年度人権教育指導者研修会」10/29(火)

県教育庁生涯学習推進課より PTA 連合会に参加の要請がありました。最近話題のインターネットによる人権侵害について、会議室でオンライン視聴しますので、奮ってご参加下さい。

<PTA/職員人権研修会@会議室>申し込み随時 66-3158 担当(岩田)まで

講座	日付	時間	仮題(講師：敬称略)
第8	9/27(金)	14:30～16:30	セトラー・コロナリズムとアイヌ民族差別 (室蘭工業大学松本ますみ)
第9	10/11(金)		差別されない権利の実現を(「部落探訪」新潟訴訟弁護団 上野 祐)
第10	10/22(火)		女性支援法と扶養義務(ウイメンズサポートセンターにいがた 西澤真知)
特別	10/29(火)	15:00～16:40	インターネットにおける人権侵害(宮前千雅子 関西大学人権問題研究室)

【人権研修まとめノート】

Ⅰ 越佐にんげん学校⑤9/6【水俣病:水俣病は終わっていない:有田純也(新潟水俣病共闘会議事務局長)】

- ・いまだに水俣病裁判は続き、原告に対して、「金目当て」等の心ない差別の言葉が投げかけられている。
- ・足尾銅山鉍毒事件に関わった田中正造(衆議院議員)の言葉「公害がある所に差別が起きるのではない。差別がある所に公害が起きるのだ」差別心から、嫌なもの(=毒を垂れ流す、発電所の様に騒音が出る施設、隔離病棟)を、押しつける。佐渡の被差別部落付近にも発電所や隔離病棟が設置された過去がある。
- ・私たちも、嫌なことを、誰か弱い立場の人に押しつけたりしていないか？自分自身に問い直してみよう。

Ⅱ 越佐にんげん学校⑥9/10【障害者差別:佐藤聡(DPI 日本会議事務局長)】

- ・佐藤さんは六日町出身で、今は東京の、日本を代表する障害者当事者団体の事務局長です。高校時代に車椅子で六日町から新潟の病院に通う時、階段を使わずに列車に乗るため、くだりの新潟行きは五日町駅から乗り、帰りは隣の駅の六日町駅で降りると工夫し、駅では駅員の援助を受けました。「こんな混んでいる時に何で来るんだ！」と文句を言われ、気合いを入れないと駅に行けなかったそうです。
- ・その後、世界の障害者の運動により、国連で障害者権利条約が採択/発効(2008)し、障害のある人が人権を行使して生活するのを援助する(合理的配慮)ことになりました。障害者が普通に生活することを妨げる障壁を「障害」と呼びます(障害の社会モデル)。
- ・つまり、「障害」は体にあるのではなく、社会の中にあります。「しょうがい」と「障害」を書き換えるのは、昔の、体にある「しょうがい」を柔らかく言うことであり、新しい考え方ではないので、障害当事者の DPI では「障害者」という言い方をしています。
- ・日本では、憲法で保障された人権を行使できるように、障害当事者が運動を行ない、バリアフリー法を作らせ、より良い生活のため改正が進みました。DPI は、2020 東京オリパラを契機に、世界一の基準の法に改正させて、東京は、世界一障害者が暮らしやすい街になりました。地方はまだまだだそうです。新幹線、スポーツ施設、車椅子の障害者が利用しやすい日本に近づいています。

ちなみに、2024オリパラのパリは、まだまだ障害者は暮らしにくいそうです。

・困っている人が、声を上げ、周りの人達と一緒に、誰もが暮らしやすい社会に変えていきましょう。

困っている友達の側に立ち、「困っている」と声を出せる佐渡総合高校に！